

WNI is “Full Weather & Climate Company”

ウェザーニューズについて

Climate tech planning

2024年1月25日





会社名:株式会社ウェザーニューズ

部門:気候テック事業部 事業部長

氏名:鈴木 孝宗(スズキ タカムネ)

略歴:1996年 信州大学経済学部 卒業

1996年 株式会社ウェザーニューズ 入社

2005年 鉄道気象事業部マーケティングリーダー

2012年 アジア事業開発

2018年 環境気象事業部マーケティングリーダー

2020年 ClimateneWSプロジェクトリーダー

2022年 気候テック事業部事業部長

1) 会社概要

2) 昨今の異常気象と気候リスク分析

3) D-ismプロジェクト参画の背景と目的



創業 1986年6月
上場市場 東証プライム(4825)
本社 グローバルセンター 千葉市美浜区
代表者 草開 千仁
資本金 17億6百万円
連結売上高 211億1千万円 (2023年5月期)
社員数 1,138人 (2023年5月期)
拠点数 21カ国30拠点 (国内: 10拠点、運営: 8拠点)

<運営拠点>

アムステルダムセンター

コペンハーゲンセンター

グローバルセンター



オクラホマセンター



パリセンター



ヤンゴンオペレーションセンター



マニラ
オペレーションセンター



BtoBサービスお客様数

2600社

BtoSアプリダウンロード数

3500万ダウンロード

対象マーケット

45市場

～対象マーケットセグメント例～

交通事業者
(船舶/航空/道路/鉄道)



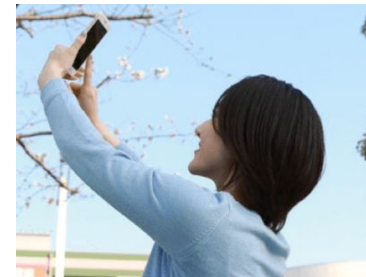
製造メーカー/流通小売(小
売/製造/物流)



エネルギー



個人



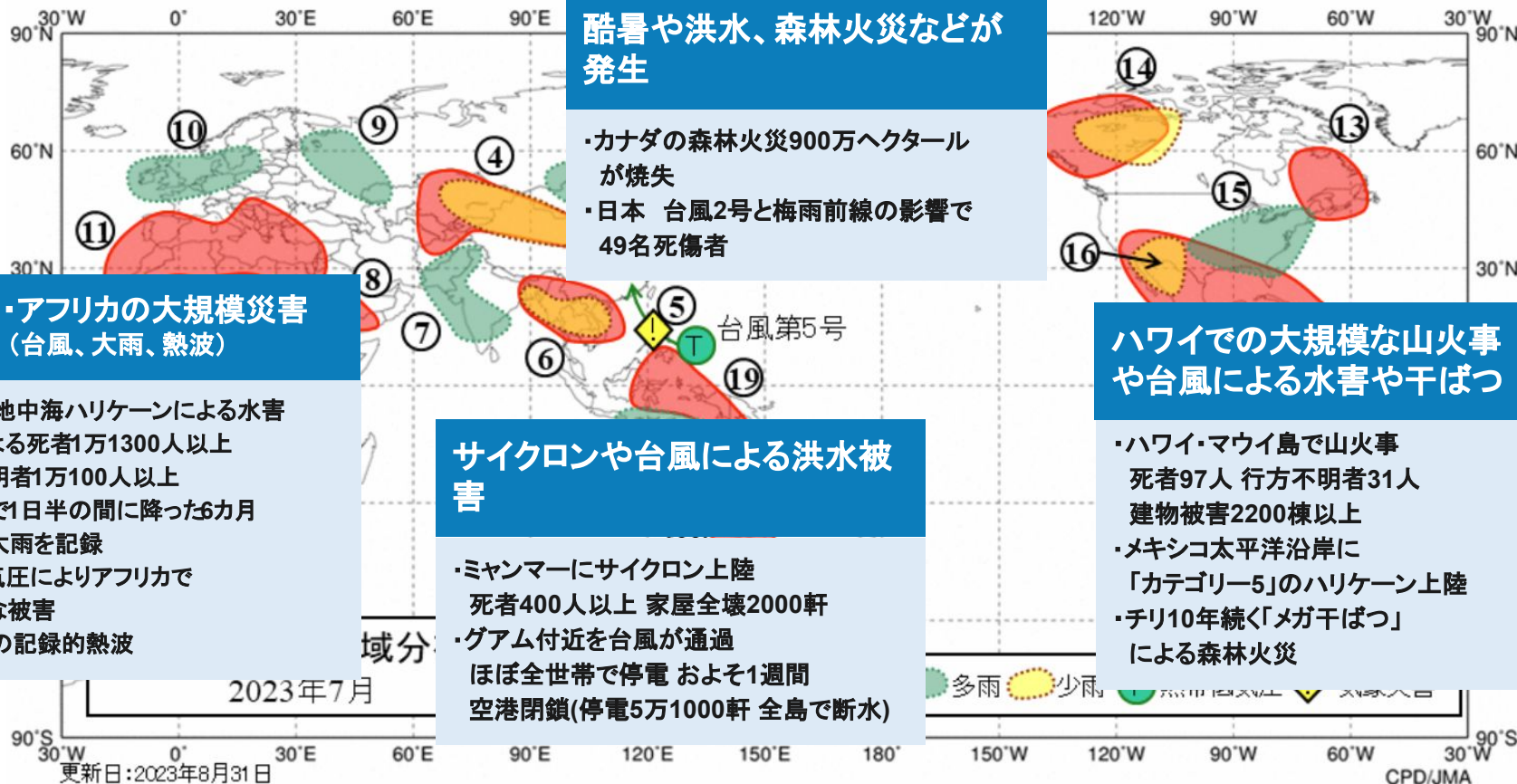
1) 会社概要

2) 昨今の異常気象と気候リスク分析

3) D-ismプロジェクト参画の背景と目的

2023年7月

出典: 気象庁ホームページ「異常天候図表」



酷暑や洪水、森林火災などが発生

- ・カナダの森林火災900万ヘクタールが焼失
- ・日本 台風2号と梅雨前線の影響で49名死傷者

欧州・アフリカの大規模災害 (台風、大雨、熱波)

- ・リビアで地中海ハリケーンによる水害
台風による死者1万1300人以上
行方不明者1万100人以上
- ・イタリアで1日半の間に降った6カ月相当の大雨を記録
- ・熱帯低気圧によりアフリカで大規模な被害
- ・インドでの記録的熱波

サイクロンや台風による洪水被害

- ・ミャンマーにサイクロン上陸
死者400人以上 家屋全壊2000軒
- ・グアム付近を台風が通過
ほぼ全世帯で停電 およそ1週間
空港閉鎖(停電5万1000軒 全島で断水)

ハワイでの大規模な山火事 や台風による水害や干ばつ

- ・ハワイ・マウイ島で山火事
死者97人 行方不明者31人
建物被害2200棟以上
- ・メキシコ太平洋沿岸に「カテゴリー5」のハリケーン上陸
- ・チリ10年続く「メガ干ばつ」による森林火災



米国 カルフォルニア
84年ぶりのハリケーンによる洪水が発生

©BBC news JAPAN



©BBC news JAPAN

リビア 大雨による洪水
暴風雨により2つのダムが決壊し5300人の死者に



欧州 熱波による山火事
地球温暖化により危険度が50倍に

GETTY IMAGES

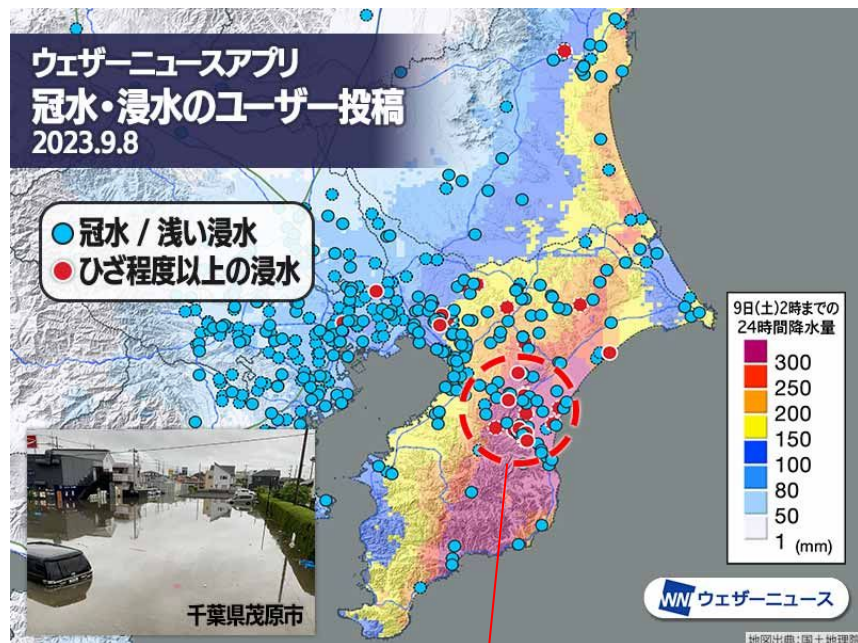


台風2号による東海地方での大雨



台風13号による千葉県茂原市の大雨

9月8日(金)に東海道沖に接近した台風13号(ハイクイ)は、勢力がさほど強くなく上陸もしなかったにもかかわらず、広範囲に雨を降らせて大雨の被害をもたらした。

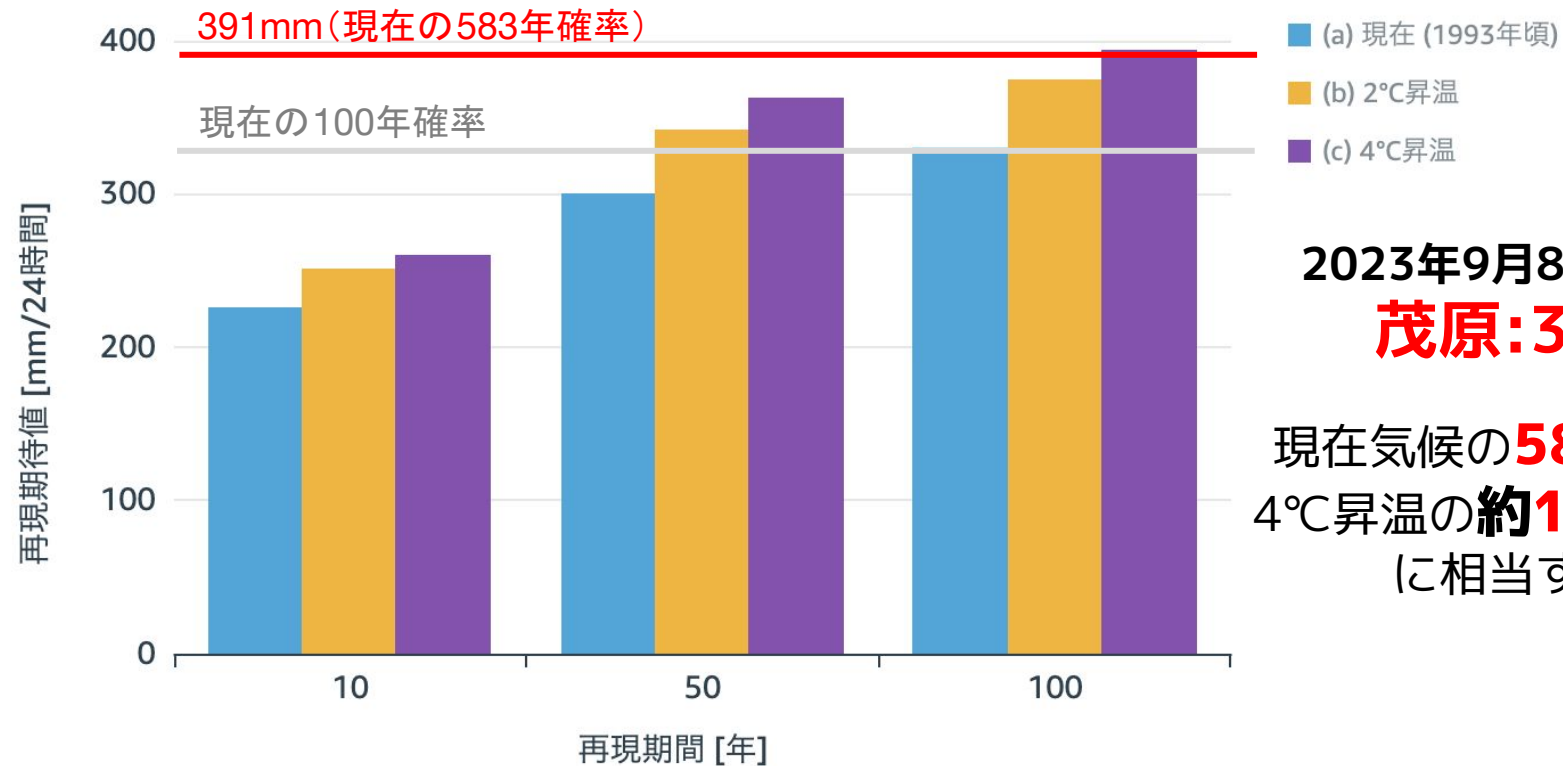


6時間の降水量がおよそ150mm以上となった地域での浸水被害
(24時間雨量は390mm)



<https://gvs.weathernews.jp/info/img/20230908rad2.gif>

再現期間10・50・100年における再現期待値※1



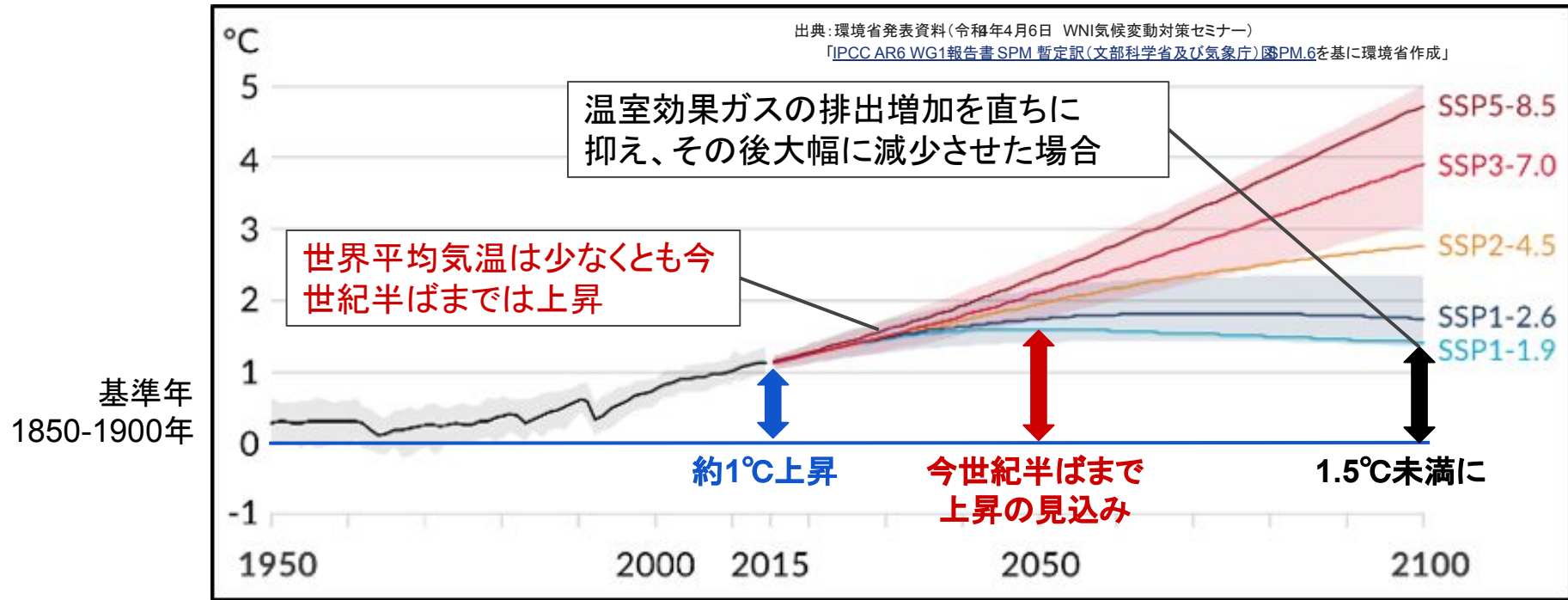
2023年9月8日の日降水量は
茂原:391.0mm

現在気候の**583年**に一度
4°C昇温の**約100年**に一度
に相当する規模

※1: 再現期間および再現期待値について

再現期間: 大雨, 暴風, 洪水などの“ある事象”が「何年に一度程度おこりうるか」という期間を表す。

再現期待値: 再現期間内で発生するであろう最大値を表す。



今世紀半ばまで上昇し続ける気温に対する**気候変動への適応が必要不可欠**



IPCC 第6次評価報告書における SSPシナリオとは

シナリオ		シナリオの概要	近い RCPシナリオ ^① <small>① IPCCAR5 で使われた 代表基礎経路シナリオ</small>
	SSP1-1.9	持続可能な発展の下で 気温上昇を 1.5°C以下におさえるシナリオ 21 世紀末までの気温上昇(工業化前基準)を 1.5°C以下に抑える政策を導入 21 世紀半ばに CO ₂ 排出正味ゼロの見込み	該当なし
	SSP1-2.6	持続可能な発展の下で 気温上昇を 2°C未満におさえるシナリオ 21 世紀末までの気温上昇(工業化前基準)を 2°C未満に抑える政策を導入 21 世紀後半に CO ₂ 排出正味ゼロの見込み	RCP2.6
	SSP2-4.5	中道的な発展の下で気候政策を導入するシナリオ 2030 年までの各国の国別削減目標(NDC)を 集計した排出量上限にほぼ位置する	RCP4.5 <small>(2050 年までは RCP6.0 にも近い)</small>
	SSP3-7.0	地域対立的な発展の下で 気候政策を導入しないシナリオ	RCP6.0と RCP8.5の間
	SSP5-8.5	化石燃料依存型の発展の下で 気候政策を導入しない最大排出量シナリオ	RCP8.5

出典: IPCC 第6次評価報告書および環境省資料をもとに JCCCA 作成

気候変動リスク

高い

気候リスクへの適応

気候リスクへの適応ため
気象予測サービス

現在

気候変動適応計画

気候リスクモニタリング

低い

2023年

2024年

2030年

2050年

2080年

時間

気候データを用いて対象拠点の気候変動による
急性や慢性の物理リスクの定量分析 から財務への
影響の算出など気候リスク分析サービスを提供

将来(2030年~2080年)

気候リスク分析

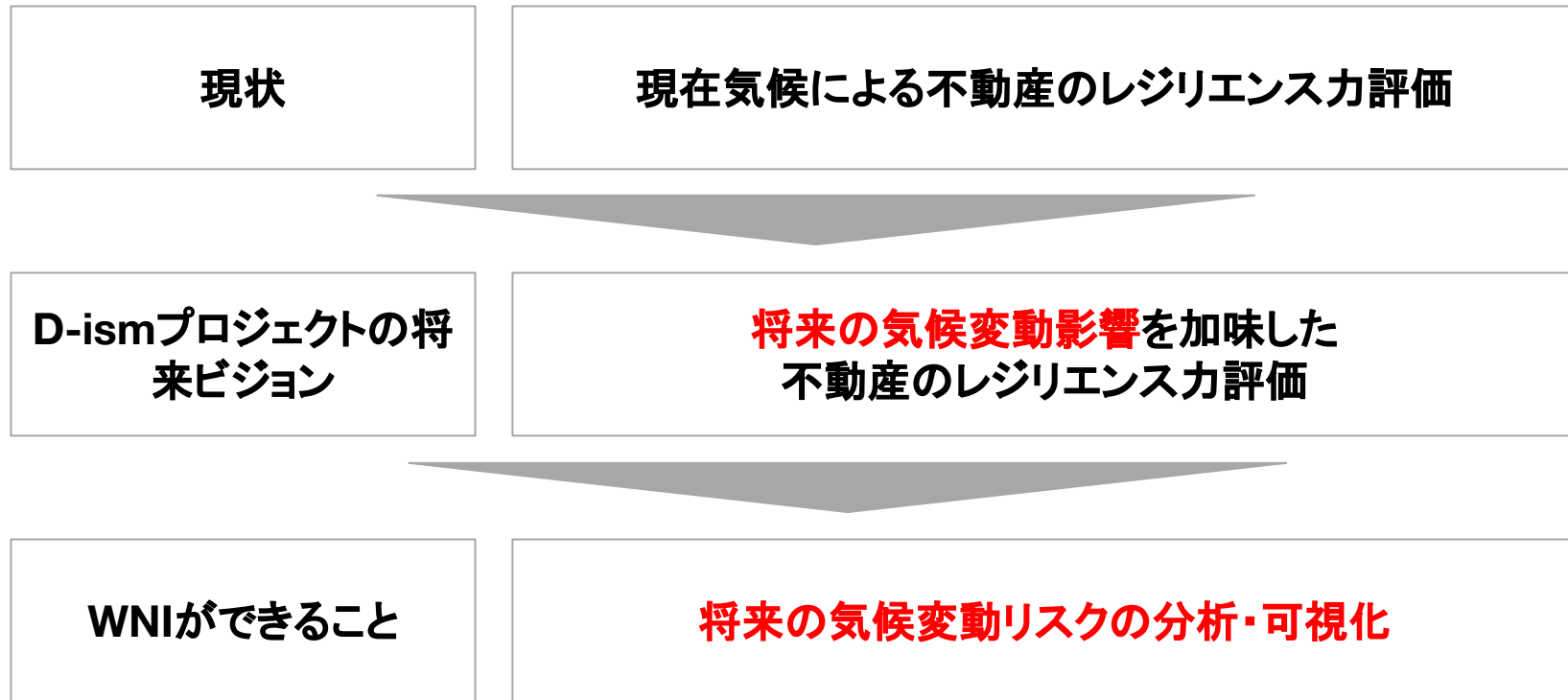
バックキャストイング

1) 会社概要

2) 昨今の異常気象と気候リスク分析

3) D-ismプロジェクト参画の背景と目的

D-ismプロジェクトの将来ビジョンに向かって WNIも協力できると考えたため。



分析イメージ: タイのバーンプー工業団地の洪水による浸水深の再現期待値シミュレーション

急性

浸水深の再現期待値(洪水シミュレーションモデル)

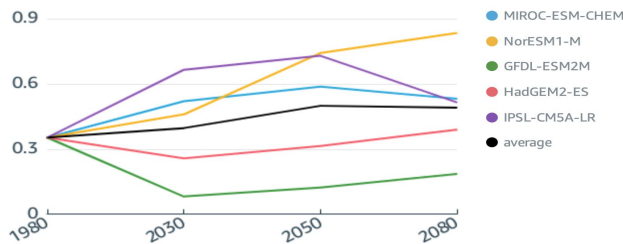
気候変動による大雨による河川の洪水や高潮による浸水深を30 m~1kmメッシュで解析



*AQUEDUCT:
世界資源研究所が運営する世界の水リスク分析のためのポータルサイト。
CDPウォーターでの回答時に世界300社以上が活用。

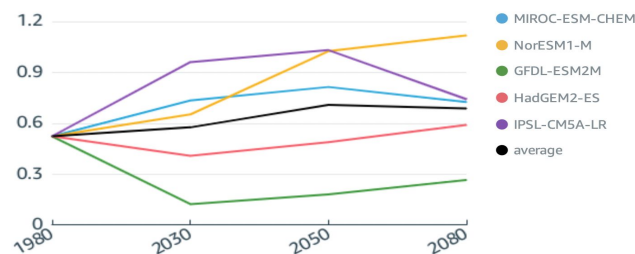
浸水深将来分析(100年確率_RCP8.5)

	2030年	2050年	2080年
最大値	0.7m	0.7m	0.8m
平均値	0.4m	0.5m	0.5m
最小値	0.1m	0.1m	0.2m



浸水深将来分析(1000年確率_RCP8.5)

RCP8.5	2030年	2050年	2080年
最大値	1.0m	1.0m	1.1m
平均値	0.6m	0.7m	0.7m
最小値	0.1m	0.2m	0.3m



分析イメージ: 埼玉県鳩山の記録的大雨を基準値とした将来の発生頻度及び、再現期待値

急性

2022/07/12アメダス鳩山では日降水量374.5mmを観測。
埼玉県内では道路冠水や河川氾濫等が発生。



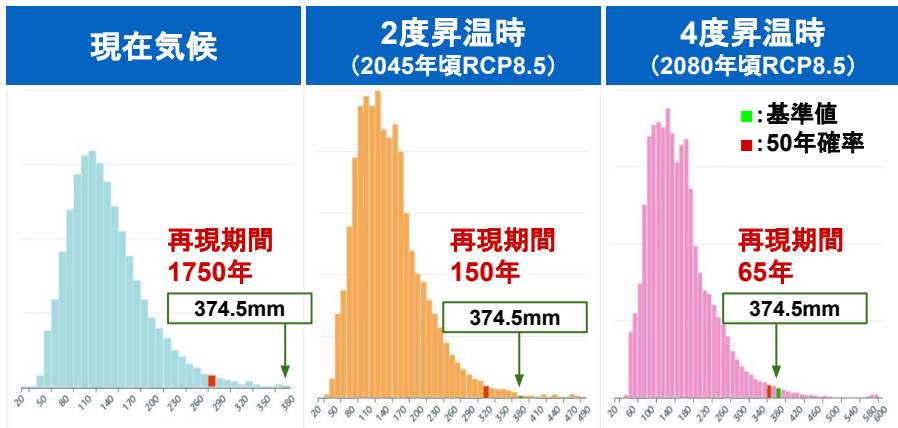
鳩山(埼玉県) 気象庁サイトより抜粋(2022/07/13時点)

要素名/順位	1位	2位	3位
日降水量 (mm)	374.5 (2022/7/12)	166.5 (2015/7/16)	162.5 (2011/7/19)
日最大10分間降水量 (mm)	23.5 (2022/7/12)	21.5 (2013/7/17)	20.0 (2017/7/4)
日最大1時間降水量 (mm)	111.0 (2022/7/12)	74.5 (2013/7/17)	62 (1990/7/26)

基準値超過年平均頻度(回/年)

基準値 **375mm/24時間積算**

現在(1993年頃)	0.00057回/年(1倍)	
シナリオ	RCP2.6	RCP8.5
2030	0.004 回/年(7倍)	0.005 回/年(8.7倍)
2040	0.005 回/年(8.7倍)	0.007 回/年(12.2倍)
2050	0.005 回/年(8.7倍)	0.008 回/年(14.0倍)
2060	0.005 回/年(8.7倍)	0.010 回/年(17.5倍)
2070	0.005 回/年(8.7倍)	0.013 回/年(22.8倍)
2080	0.005 回/年(8.7倍)	0.015 回/年(26.3倍)
2090	0.005 回/年(8.7倍)	0.017 回/年(29.8倍)
2100	0.005 回/年(8.7倍)	0.019 回/年(33.3倍)



24時間積算降水量再現期待値

再現期間	現在	2度昇温	4度昇温
10年確率	204mm	227mm	254mm
50年確率	271mm	312mm	358mm
100年確率	301mm	352mm	403mm

